

司法福祉委員会ニュース

2025年発行 Vol.4

一般社団法人宮城県社会福祉士会 司法福祉委員会

◆◇「更生支援計画作成に伴う協力者登録研修」のご報告◇◆

2025年7月6日(日)10時~16時、当委員会が主催し、当委員会委員が講師となり、標記研修をフォレスト仙台にて開催しました。日曜日にもかかわらず多くの会員の皆様に参加いただきました。以下、ご報告いたします。

(1) 講義① 知的障害者と犯罪の関係性

知的障害の特徴、知的障害者と犯罪の関係性等についてお話をしました。

知的障害について、知的機能(判断力や記憶力)・注意力・遂行力・抽象的思考・コミュニケーション能力等の観点から解説し、知的障害者の特性についても整理しました。

知的障害者と犯罪の関係性について、自己肯定感や自尊心の低さ・計画的思考の困難さ・自他の境界の理解不足・認知の歪み等の観点から、多角的に解説しました。

(2) 講義② 更生支援計画の構成と視点

更生計画の意義・目的、作成の流れ、情報収集やアセスメント、支援体制構築、福祉士としての刑事手続への関わり、判決後支援等について、網羅的にお話しました。

そのうえで、司法福祉分野における現在の課題(再犯防止に代わる効果測定の必要性等)、判決後支援の難しさ等について、支援を実践している立場からお話ししました。

(3) 講義③ 事例から学ぶ更生支援の組み立て

架空の事例から、更生支援の実際の組立てについて解説しました。

より実践的な講義となり、アセスメントの方法や手順、福祉士としての活動内容、実際の支援体制の構築方法等について、学んでいただけたのではないかと思います。

(4) グループワーク 更生支援計画を立ててみよう

以上の講義を前提に、出席者の皆様で、実際に更生支援計画を立てていただくグループワーク(GW)を実施しました。

限られた時間ではありましたが、出席者からは、本人のより根源的な課題について、どのような支援が考えられるのか、支援者会議の主催が、判決後は地域に移行する事や、本人のストレングスに着目して支援を組み立てていく視点等、多くの貴重なご意見ご指摘をいただきました。また、受け入れ側である社会のあるべき姿勢等については、各グループで課題となっていました。

(5) まとめ

今回の研修は、出席者の皆様に、今後、実際に当会に寄せられた支援依頼にご対応いただくことができるよう、より実践的な内容について理解を深めていただいた研修でした。

当委員会としては、今後、刑事司法手続へのご支援、更生支援計画のご作成等を担っ

ていただける会員の皆様を、支援・サポートしてまいりたいと思います。

◆ ◇ 「 裁 判 傍 聽 会 」 の ゴ 報 告 ◇ ◆

司法福祉委員会・継続研修会として、令和6年11月14日、仙台地方裁判所にて行われました裁判の法廷傍聴会を開催しました。当日は約10名が参加されました。

傍聴に際して、法廷に入るにあたり事前のセキュリティチェックがありました。傍聴希望者に対して司法のオープンな印象を受けました。

他方、実際の法廷は、緊張感に満ちた緊迫した状況を強く感じました。

傍聴後の参加者の方々の感想の中には、こういった非日常の独特的な雰囲気の中で、障害を持った方が発言する緊張感は計り知れること、福祉の側からみていくとそういった被告人への何かしらの対応が必要であることなどについて、振り返りの中で聞かれました。

今回の学びと得た気づきを今後の委員会活動に繋げていきたいと思います。

◆ ◇ 「 ク ラ イ シ ス プ ラ ン を 学 ぶ 研 修 会 」 の ゴ 報 告 ◇ ◆

令和7年2月2日、岩手県立大学の三品竜浩先生をお招きしてクライシスプランを学ぶ研修会を開催しました。高齢、障害、児童と様々な領域から27名の方が参加されました。

クライシスプランとは、精神的な病気を抱えている方と多職種の支援者が協力して病状の安定を目指すためのツールということでしたが、様々な状況に対応できるのではと、自分たちの支援に即した質問や感想が寄せられました。私たちの支援はパターナリズムを意識せざるを得ない場面があります。特に司法領域では、正義という名のもとに傾いていないか、クライシスプランのようなツールを使い、多元的に支援を振り返る必要があると感じています。また今回は、クライシスプランに取り組まれている東北福祉大学の狩野俊介先生にも、参加者という形式にもかかわらず、様々なご助言を頂き、有意義な時間となりました。

三品先生、狩野先生、参加者のみなさまありがとうございました！

◆ ◇ 司 法 福 祉 委 員 会 の 研 修 ・ 活 动 等 の ゴ 要 望 を お 待 ち し て い ま す ◇ ◆

司法福祉委員会では、今後も、司法福祉に関わる様々な研修や企画を検討しています。研修や活動等について、お気軽にご意見・ご要望をお寄せいただければと思います。

【司法福祉委員会に関する問合せ先】

一般社団法人宮城県社会福祉士会事務局 及川由佳

住 所:〒981-0935 仙台市青葉区三条町10-19PROP三条館内

TEL:022-233-0296 FAX:022-393-6296

Eメール:mail@macsw.jp